

## 7. 公社債への投資実態

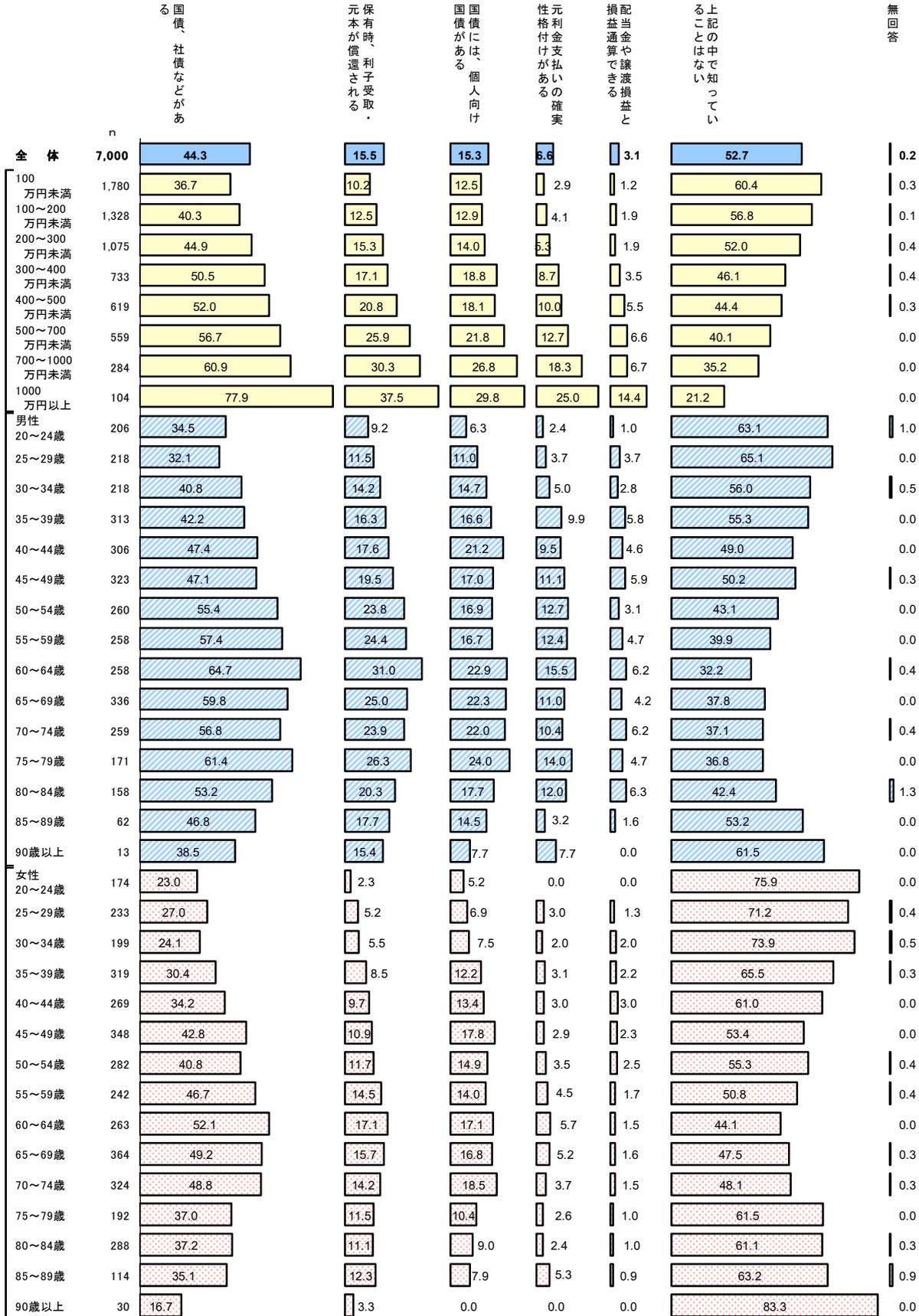
- (1) 「公社債」に関する認知事項（問 51）
- (2) 公社債の保有状況（問 52）
- (3) 保有公社債の銘柄数（問 52－1）
- (4) 公社債の売買注文場所（問 53）
- (5) 公社債購入の理由（問 54）
- (6) 公社債投資の不満点（問 55）
- (7) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（問 56）



(1) 「公社債」に関する認知事項 (問 51)

- 公社債に関する認知事項を尋ねたところ、「国が発行する国債、企業が発行する社債などがある」が 44.3%で最も高く、次いで「保有している間は、定期的に利子を受け取れ、満期日に元本が償還される」(15.5%)、「国債には、1万円から購入できる個人向け国債がある」(15.3%)と続く。
- 年収が高いほど、各項目の認知度が高い傾向がみられる。

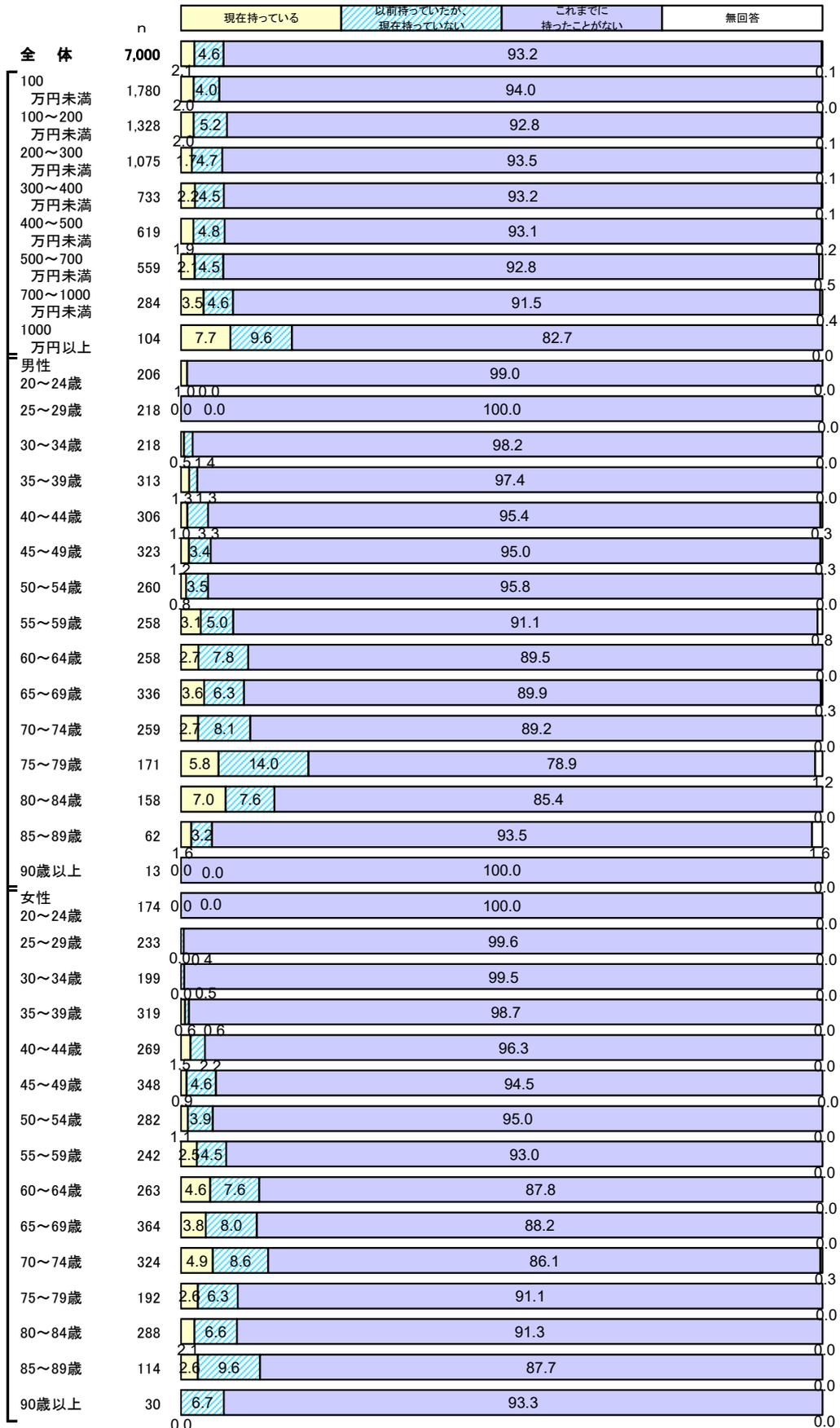
図表 7-1 「公社債」に関する認知事項 (問 51) / 年収、性・年代別



## (2) 公社債の保有状況（問 52）

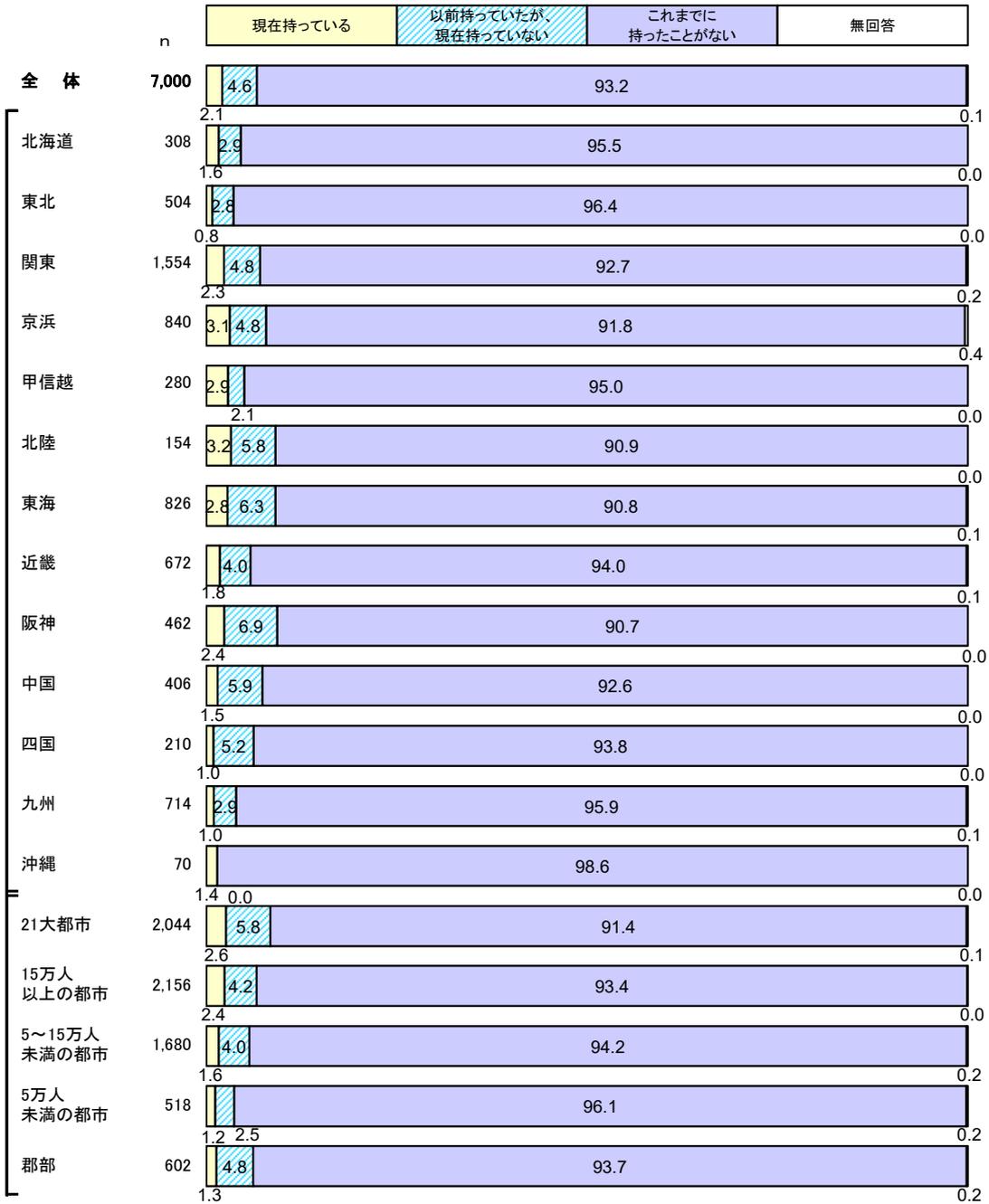
● 公社債（国債、地方債、社債、転換社債、金融債、仕組債など（外国で発行されたものを含む））の保有状況については、「現在持っている」は2.1%、「以前持っていたが、現在は持っていない」は4.6%、「これまでに持ったことがない」が93.2%となった。

図表 7-2 公社債の保有状況（問 52）／年収、性・年代別



● 地域別にみると、「現在持っている」割合は、北陸（3.2%）、京浜（3.1%）は3%を超えている。

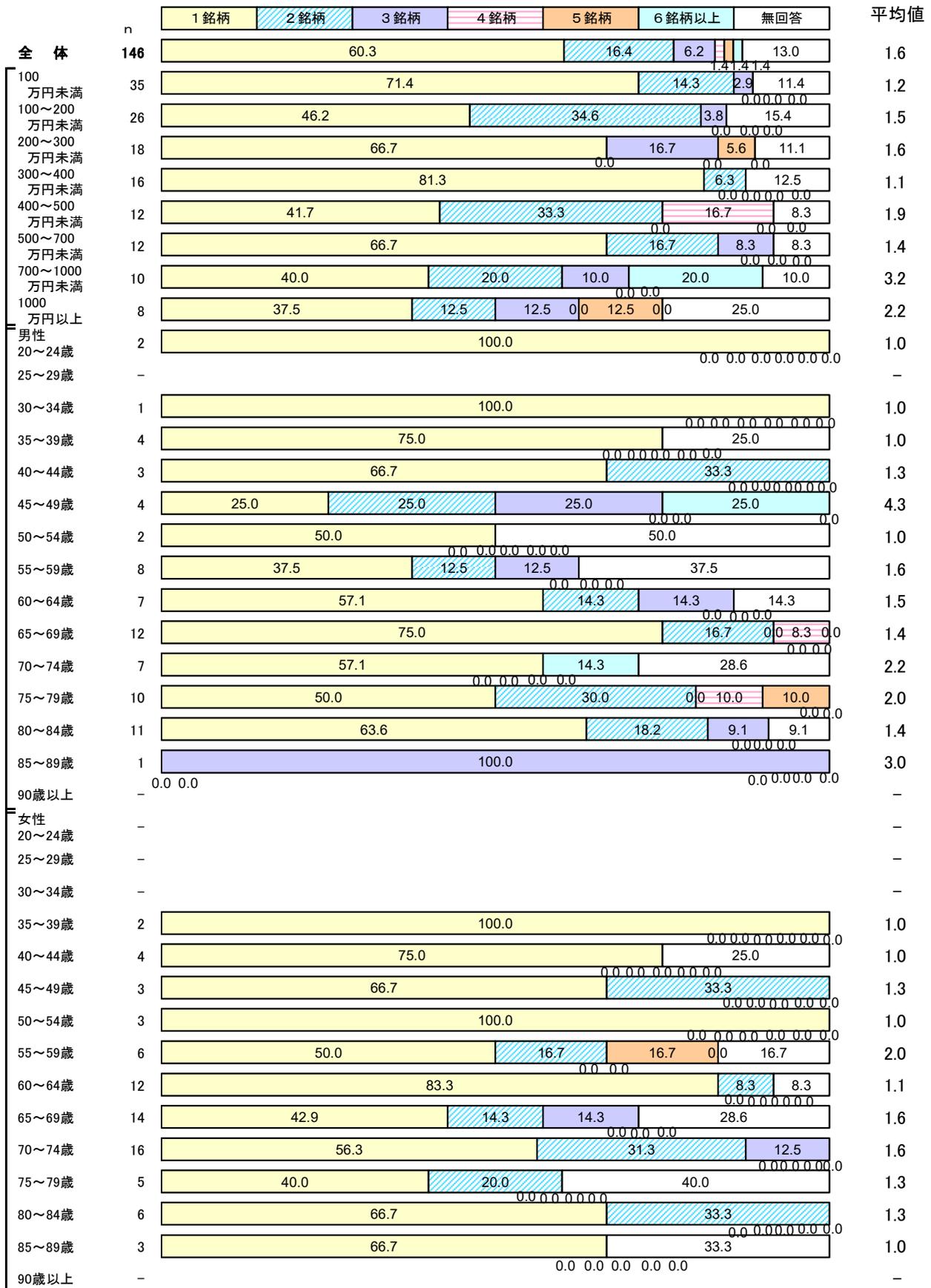
図表 7-3 公社債の保有状況（問 52）／地域・都市規模別



(3) 保有公社債の銘柄数 (問 52-1)

● 公社債を現在保有している者に保有銘柄数を尋ねたところ、「1銘柄」が60.3%と最も多く、次いで「2銘柄」(16.4%)、「3銘柄」(6.2%)と続く。平均保有銘柄数は1.6銘柄であった。

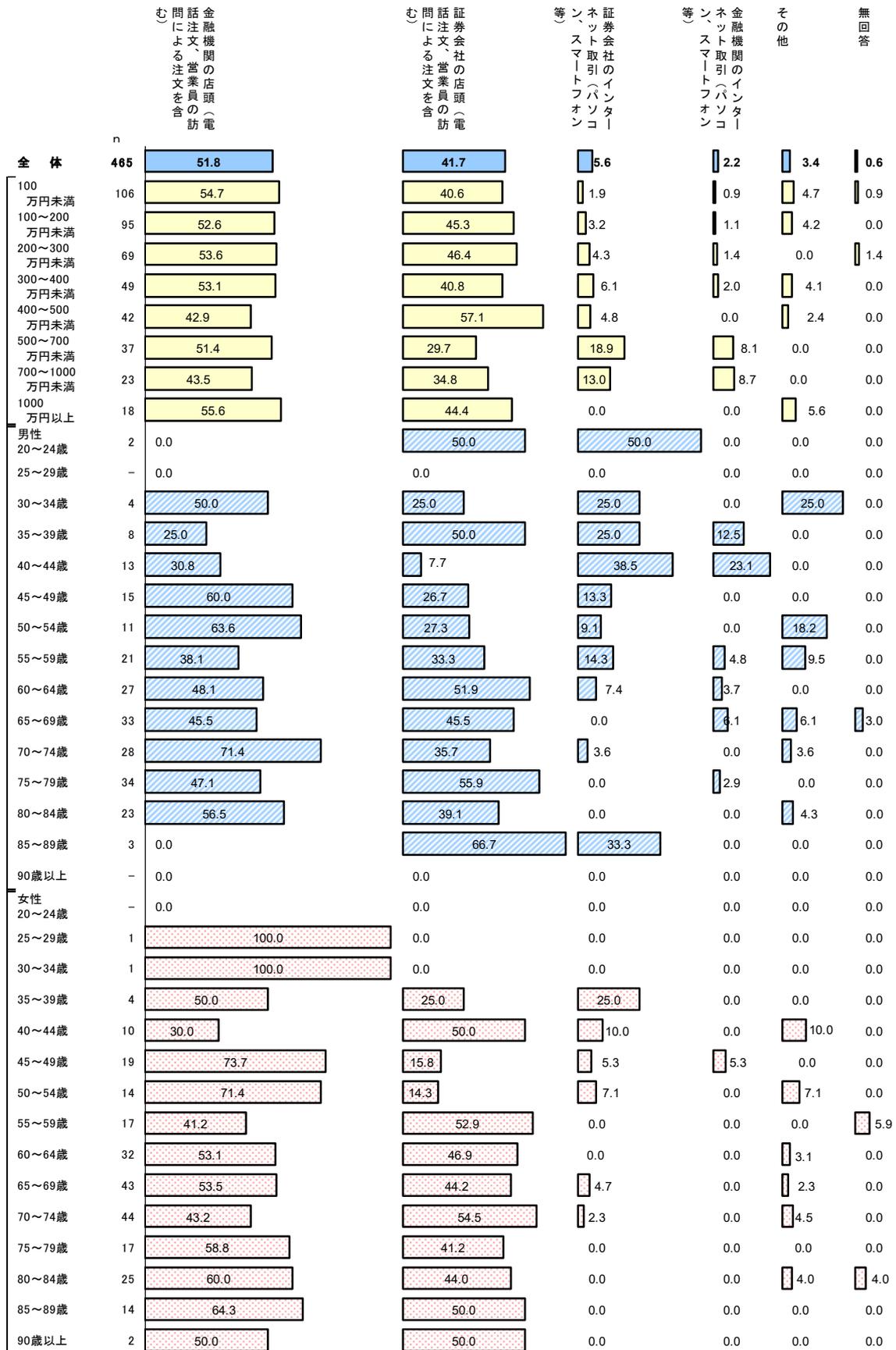
図表 7-4 保有公社債の銘柄数 (問 52-1) / 年収、性・年代別



(4) 公社債の売買注文場所 (問 53)

● これまでに公社債を保有したことのある者に対し、公社債の売買注文場所を尋ねたところ、「金融機関の店頭」(51.8%)、「証券会社の店頭」(41.7%)の割合が高く、「証券会社のインターネット取引」は5.6%、「金融機関のインターネット取引」は2.2%となっている。

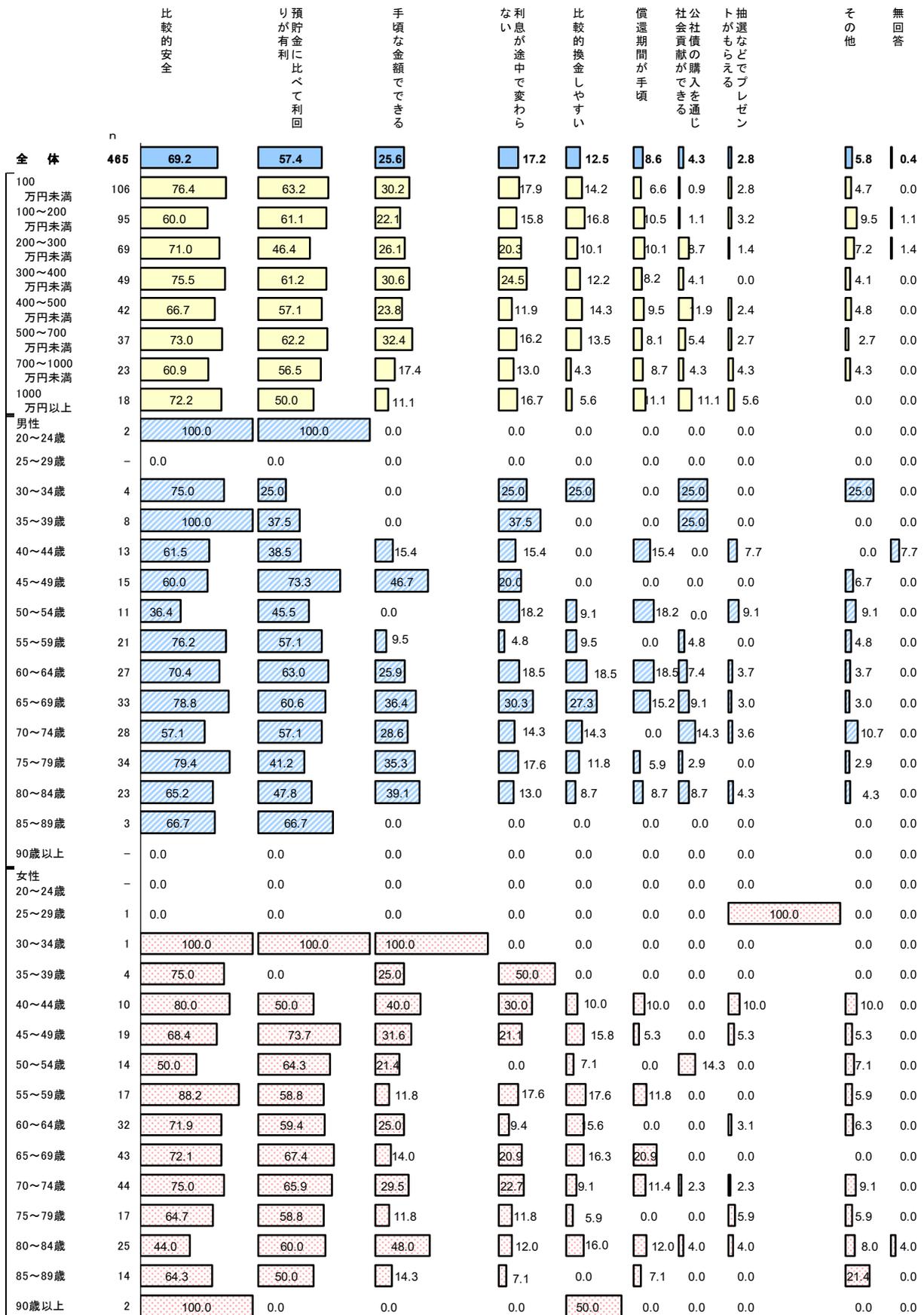
図表 7-5 公社債の売買注文場所 (複数回答) (問 53) / 年収、性・年代別



(5) 公社債購入の理由 (問 54)

● 公社債の購入理由は、「比較的安全だから」が 69.2%で最も高く、次いで「預貯金に比べて利回りが有利だから」(57.4%)が続く。以下、「手頃な金額でできるから」(25.6%)、「利息が途中で変わらないから」(17.2%)の順となっている。

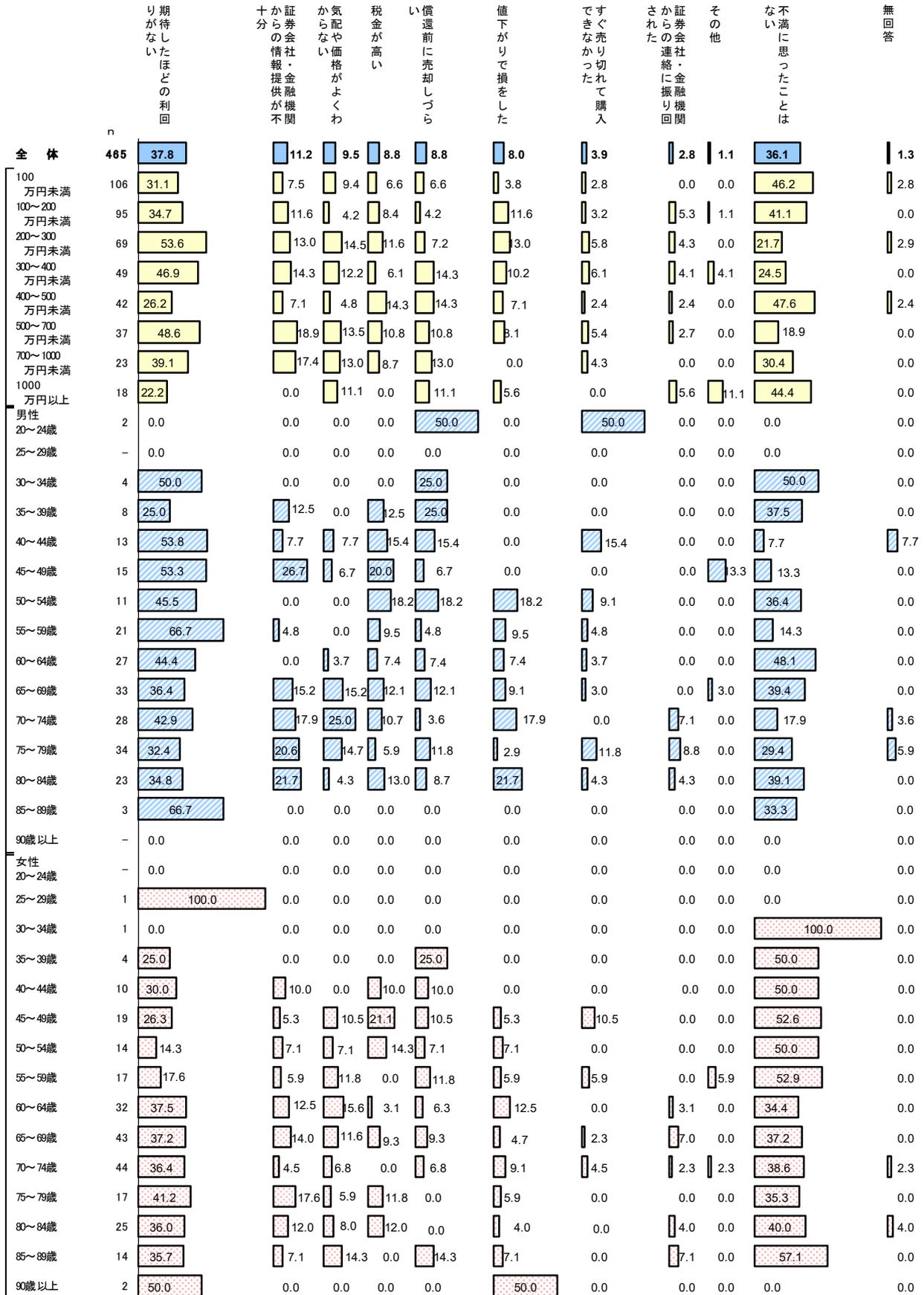
図表 7-6 公社債購入の理由 (複数回答) (問 54) / 年収、性・年代別



(6) 公社債投資の不満点 (問 55)

● 公社債投資の不満点は、「期待したほどの利回りがなかった」(37.8%)が最も高く、次いで「証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった」(11.2%)、「気配や価格がよくわからない」(9.5%)と続く。一方、「不満に思ったことはない」は36.1%であった。

図表 7-7 公社債投資の不満点 (複数回答) (問 55) / 年収、性・年代別



(7) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（問 56）

● 公社債保有未経験者に対し、これまで公社債を購入しなかった理由を尋ねたところ、「公社債に興味がないから」（72.1%）を除くと、「十分な知識をまだ持っていないから」（17.0%）、「公社債を購入するほどの資金がなかったから」（12.0%）、「ギャンブルのようなものだったから」（7.8%）が上位に挙がった。

図表 7-8 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（複数回答）（問 56）／年収、性・年代別

